

経済常任委員会会議録

議 長	
確認印	

1 日 時	開会 令和6年12月12日 13:15 閉会 令和6年12月12日 13:37
2 場 所	議員控室
3 出席委員	鈴木元久、金澤太郎、小林達信、吉田広明、七宮広樹、下重義人
4 欠席委員	なし
5 出席要求者	なし
6 職務出席者	書記
7 付議事件	第1 閉会中の継続調査について その他
8 議事の経過	金澤太郎副委員長開会 鈴木元久委員長あいさつ 第1 閉会中の継続調査について 委員長：意見あるか。 七宮広樹委員：前回の委員会のときに、次に回すものはあったか。 委員長：一般質問でも行う内容だが、埴町地域振興事業交付金（1団体上限30万円・3年間）を調査するのはいかがか。まち振興課と農林推進課になると思う。 七宮広樹委員：3年間交付した効果はどのようになっているのかについて、説明されるとのことであったが受けていない。検証が必要。 吉田広明委員：行政区や団体などが交付先である。 副委員長：振興計画にも掲載されていて継続事業である。 下重義人委員：団体の自立を促すための交付金だと思う。最大3年間・90万円。 吉田広明委員：視察研修や飲食の費用には使えない交付金である。現場工事等に充てるもの。 下重義人委員：3年以上交付されているものもあるのでは。 七宮広樹委員：延長しているものもあるようだ。 下重義人委員：調査はその1点のみか。 七宮広樹委員：1つでよい。 委員長：竹パウダーの事務所がごちゃごちゃしていると聞いている。 七宮広樹委員：竹交流センターの事務所は現在、フラワーキングが使っている。その中が荒れている。心配だという町民の声がある。 委員長：直接行って確認したいと思う。調査する・しないは後の話である。 今回の所管事務調査は、埴町地域振興事業交付金の内容でよろしいか。 （よいという各委員から声あり） 委員長：内容、日程等は一任願う。その他何かあるか。 副委員長：今年度は視察研修を実施しないということだが、この先どうするのか。 委員長：次の委員会のときまでに、どのようなことを視察したいか考えておいていただきたい。

場所等について、総務常任委員会と同じ方面で決めていきたいと思っている。

副委員長：行けるところではなく、経済として何を視察するのかということを考えるべき。総務と場所が違うからというのは本末転倒である。

委員長：意見あるか。

吉田広明委員：石川県・能登地方について、地震からの復旧がなかなか進んでいないようだ。現場に行って生の声を聞くのもいいのではないか。聞ければだが。

委員長：湯遊ランドで特別委員会を設置していることもあるので、第三セクターで成功したところ、だめになったところ、どちらかを視察してはどうかと思っている。

吉田広明委員：何年前かに山形県と秋田県の境の所の温泉に視察に行った。そこは三セクで瀕死の状態であったが、マネージャーを変えたら黒字を出すまでに回復したという事例は記憶している。

副委員長：第三セクターに関しては、法律が変わってつぶれない。成功事例を視察するのも一つの案であると思う。

委員長：その他なければ終了する。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例第 27 条の規定により署名する。

令和 年 月 日 経済常任委員長